**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | **自己評価** | **記述** | **運営推進会議で話しあった内容** | **外部評価** | **記述** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** | | | |  |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎年の事業計画は介護保険制度、地域包括ケア、地域密着サービスの理念、考え方を反映させたものとし実践している。 |  |  |  |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 開設時より地域に開かれた施設作りに取り組んできたが、感染予防のため大幅に制限を余儀なくされている。 | 〇再開できるように準備をしっかりしておけば良いのではないか？  〇まずは感染予防を第一にしてほしい |  |  |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 昨年は感染委棒の為館内の立ち入りを制限していたため運営推進会議の開催は書類での報告が主になっていた。 | 年が明けてからオンラインでの開催が始まったので、少しづつでも参加人数が増えるようにしたい。  オンラインの利用方法の説明など必要？ |  |  |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 新宿区介護保険課とは日頃より連絡を取り合い、必要時の連絡や相談など行っている | 継続して必要な連絡を欠かさずに行っていきます。 |  |  |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎年アンケートと研修を実施し、その周知に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 年2回　身体拘束、不適切ケアに関するアンケートを実施して研修計画に取り入れている。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 研修には積極的に参加し、虐待防止のための知見を有したうえでの接遇に当たっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ご家族からの支援を得ずらい利用ケースに対しての制度利用については準備をしている。 |  |  |  |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 契約書の取り交わし時、改定時には書面での説明と同意を必ず得ている。また定期的に内部監査を行い確認をしている。 |  |  |  |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎年ご利用家族へのアンケートを行い意見や要望を頂く体制をとっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ミーテイングを毎月開催し、その機会を設けている。 |  |  |  |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 法令を遵守した上で、本人のやりがいが損なわれないような職場環境つくりに取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 個別の職員研修計画の実践などは不足していると感じている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 同法人内ではあるが交流や勉強会など積極的に開催している。 |  |  |  |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員と利用者という関係性が固定的になっているように思える。またそれを変えようという意思を職員からは感じられない。 |  |  |  |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 地域密着サービスの意義として最重要事項であることは認識しているが、昨年は感染予防の観点から関係性が希薄になってしまった。 | 〇コロナ禍でもできることに取り組んでいく。  〇地域へでていける状況になるまでは感染予防をしっかりと行って欲しい。 |  |  |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | |  |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一部センター方式のアセスメントなども利用し職員間で取り組みを進めたい。 |  |  |  |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 介護支援専門員が個別に要望を伺い作成しているが、各方面からの意見の出し合いをし、皆で支えあえることを目的とした計画を作りたいと考えている。これからの課題。 | 今後は様々な立場の意見が反映されるような計画作りに取り組みたい。  ご家族：協力します。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 昨年は介護ソフトを一新し、記録や情報共有の質の向上に向けて取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 10月よりケアカルテという介護ソフトを取り入れた。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入所サービスという枠にとらわれず、ニーズに解決を優先に、柔軟な取り組みを職員にも促したい。 | ご利用者の背景も多様となってきている。  施設としても対応力を付けていく必要ある。 |  |  |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 昨年より体制変更行い、地域支援課を立ち上げた。地域資源との協働はその目的の一つで取り組みを進めている。 | 体制変更の意義などを説明してご理解いただいた。 |  |  |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 訪問診療機関との連携をとり、必要な医療が受けられる体制をとっている。 |  |  |  |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 地域支援課職員により病院との連携を図り、早期退院や退院後の支援体制作りに取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | お看取りをする体制も整えられてきており（職員の研修など）、指針作成し必要時は相談を進める体制をとっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 契約時に重度化の指針について書面及び口頭での説明を行っている。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 救急対応時のマニュアルは完備しており、対応もスムーズに行われている。施設責任者は24時間連絡を受け指示をする体制をとっている。 |  |  |  |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 消防法で定められた避難計画書を作成した。特に妙正寺川沿いに位置していることもあり、ハザードマップの更新や避難計画の定期的見直しを行っている。 | 災害時の対応などは初めてご家族へ説明したので、参考になったとの意見を頂いた。今後は災害時の連絡網に家族向けの連絡体制を作る予定 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | BCP作成済み |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | |  |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | アンケートや所内研修を通じて尊厳を守る支援となるよう意図して指導している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員の業務優先になりがちであるが、都度ミーティングなどで発信し個別性を大切にしたケアを目指している。 |  |  |  |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 食事作り支援がグループホームの大きな特徴ではあるが、職員の意識とかけ離れていることが多い。今後の課題。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 食事内容は栄養管理がされておりバランスの取れた食事提供がなされている。 |  |  |  |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎食後の口腔ケアを実施。定期的に訪問歯科による口腔ケアも行われている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ユウデンタルクリニックと連携している  昨年、口腔ケアの研修会を実施した |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 排泄表をつけてパターンの把握、排泄介助の立案、評価～見直しを繰り返している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 利用者の意向を最大限尊重し、入浴の機会を提供するようにしている。 |  |  |  |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 夜間帯は殆どの方が安眠できている。日中もお身体の状態に応じて休息できるようにしている。 |  |  |  |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 内服薬の一覧表完備し、職員はいつでも確認できるようにしている。その理解においては個人差あり。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 千川薬局の薬剤師と連携している |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | その方に合わせてできることやできないことを把握したうえで力の発揮をする場面作りをしている。 | アセスメント、という作業を通して個別に対応している様子を説明した。 |  |  |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 昨年は屋外への外出はほとんど行うことができなかった。 | 地域への外出などが再開できるよう、しっかり準備しておいてほしいとのご意見を頂いた。 |  |  |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 買い物支援などに取り組んでいたが、昨年より外出の機会が激減している。 |  |  |  |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | テレビ電話を利用しての面会に取り組んでいる。手紙のやりとりも個別に行った。 |  |  |  |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 認知症による環境を把握する力の衰えを考慮した作りになっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| **Ⅳ．本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** | | | |  |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ご本人の意向をくみ取り、日々のケアに活かすようにしている。 |  |  |  |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | アセスメントからの情報やご家族との連携をとり、取り組んでいる。 |  |  |  |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 日々の出来事や状態変化には情報の共有を図り対応している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 訪問診療は悠翔会在宅クリニック早稲田と連携している |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 日々の生活はなるべくご本人のペースで、ゆっくり行きましょうをモットーに生活していただいている。 |  |  |  |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 居室内は馴染みのある家具などを持ち込んでいただき、家族とも協力しながら室内環境つくりをしている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 外出の機会が減ってしまっている。個別に外出機会を作ることもほとんどなかった。 | 地域への外出などが再開できるよう、しっかり準備しておいてほしいとのご意見を頂いた。 |  |  |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | アセスメントまではできているが、内容を職員間で共有することにもう一工夫必要と感じている。 |  |  |  |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 特異な料理などに力の発揮をしていただけるよう場面作りを行うようにしている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 地域交流の機会が減ってしまったためこれからの課題である。 | 地域への外出などが再開できるよう、しっかり準備しておいてほしいとのご意見を頂いた。 |  |  |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | そう思っていただけるよう日々ケアに当たっています。皆さまのご意見を頂けたら幸いです。 | 定期的なアンケートの実施を行い事業計画にも反映させ、施設の理念として職員にも浸透させていく必要がある。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |